

化学物質の環境リスク初期評価（第16次とりまとめ）の結果について

平成30年8月8日

環境省大臣官房環境保健部 環境安全課環境リスク評価室

1. 対象物質

化学物質の環境リスク初期評価第16次とりまとめ（平成29年12月27日公表）においては、健康リスクと生態リスクの双方を対象とした環境リスク初期評価について11物質、追加的に実施した生態リスク初期評価について1物質、それぞれ取りまとめた。

2. 結果

①環境リスク初期評価（健康リスクと生態リスクの双方を対象）

対象とした11物質の環境リスク初期評価の結果を、今後の対応の観点から整理をすると、以下のとおりとなる。

今回の第16次とりまとめにより、これまでに262物質の環境リスク初期評価が取りまとめられたことになる。

		健康リスク初期評価	生態リスク初期評価
A. 詳細な評価を行う候補		【0物質】	【4物質】 ・銀及びその化合物 ・ジオクチルスズ化合物 ・ジブチルスズ化合物 ・ビス(2,2,6,6-テトラメチル-4-ピペリジル)セバケート
B. 関連情報の収集が必要	B1 リスクはAより低いと考えられるが、引き続き、関連情報の収集が必要	【3物質】 ・銀及びその化合物（経口 ^{ほくろ} 曝露*） ・ジオクチルスズ化合物（経口 ^{ほくろ} 曝露*） ・モノブチルスズ化合物（一般環境大気の吸入 ^{ほくろ} 曝露）	【3物質】 ・ <i>p</i> -アミノフェノール* ・2,4-ジニトロフェノール ・モノブチルスズ化合物
	B2 リスクの判定はできないが、総合的に考えて、関連情報の収集が必要	【1物質】 ・ジオクチルスズ化合物（一般環境大気の吸入 ^{ほくろ} 曝露）	【0物質】

	健康リスク初期評価	生態リスク初期評価
C. 現時点では更なる作業の必要性は低い	【8物質】 <ul style="list-style-type: none"> ・2-アミノピリジン** ・p-アミノフェノール ・2,4-ジニトロフェノール ・ジベンジルエーテル ・ジベンゾ[b,d]チオフェン ・ジブチルスズ化合物 ・ジメチルスズ化合物 ・ビス(2,2,6,6-テトラメチル-4-ピペリジル)セバケート 	【4物質】 <ul style="list-style-type: none"> ・2-アミノピリジン ・ジベンジルエーテル ・ジベンゾ[b,d]チオフェン ・ジメチルスズ化合物

*ガイドラインに従い算出されたMOEやPEC/PNEC比では「現時点では更なる作業の必要性は低い」となるが、諸データ及び専門的な見地から総合的に判断して、引き続き、関連情報の収集が必要と考えられた物質。

**MOEやPEC/PNEC比が設定できず「リスクの判定はできない」となったが、諸データ及び専門的な見地から総合的に判断して、現時点では更なる作業の必要性は低いと考えられた物質。

②追加的に実施した生態リスク初期評価

対象とした1物質の生態リスク初期評価結果を、今後の対応の観点から整理すると、以下のとおりとなる。

今回の第16次とりまとめにより、環境リスク初期評価の262物質に加え、これまでに96物質の生態リスク初期評価が取りまとめられたことになる。

A. 詳細な評価を行う候補		【1物質】 <ul style="list-style-type: none"> ・クラリスロマイシン
B. 関連情報の収集が必要	B1 リスクはAより低いと考えられるが、引き続き、関連情報の収集が必要	【0物質】
	B2 リスクの判定はできないが、総合的に考えて、関連情報の収集が必要	【0物質】
C. 現時点では更なる作業の必要性は低い		【0物質】

3. 関係部局等との連携

○「詳細な評価を行う候補」とされた化学物質については、規制当局である関係部局、自治体等へ評価結果の情報提供を行い、緊密な連携を図ることにより、各主体における取組（例：詳細なリスク評価の実施、環境調査の実施、より詳細な毒性情報の収集等）への活用を求めることとしている。

※今回の対象物質：銀及びその化合物（生態リスク）、ジオクチルスズ化合物（生態リスク）、ジブチルスズ化合物（生態リスク）、ビス(2,2,6,6-テトラメチル-4-ピペリジル)セバケート（生態リスク）、クラリスロマイシン（生態リスク）

○また、「関連情報の収集が必要」とされた化学物質については、個々の評価の内容を踏まえて関係部局との連携等を確保し、環境中の存在状況や有害性に係る知見等の充実を図ることとしている。